

2018年1月13日(土曜日)の下野新聞に 弊社社長のトークショーについて紹介されました!

ほるぷ出版様、代官山蔦屋様主催のもと、呼ばれて行いました!

い思い

することなく、平和を念願し続けたい」と誓った。沖繩戦が終結したとされる6月23日には毎年、皇后さまと共に皇居・御所で黙とうをささげている。

陛下は皇太子時代から、沖繩学の第一人者で2012年に亡くなった外間守善氏の講義を受け、古来の琉歌を自ら詠むほど沖繩への造詣が深い。即位10年を迎えた99年11月の記者会見。陛下は「苦難の道を歩み、日本への復帰を願った沖繩県民の気持ち

ちを日本人全体が決して忘れてはならない」と述べ、「私が沖繩の歴史と文化に関心を寄せているのも、復帰に当たって沖繩の歴史と文化を理解し、県民と共有することが県民を迎える私どもの務めだと思っただから」と明かした。

沖繩戦に触れ「地上戦であれだけ大勢の人々が亡くなったことは他の地域ではない。時がたつと忘れられていくということが心配。沖繩の人々の被った災難というものは、日本人全体で分かち合うということが大切ではないか」と戦争の記憶の風化を案じた。

なり、昨秋の刊行後1カ月もたたないうちに重版が決定したという。

トークショーで秋元社長は「ビジネスとボランティアは別という考えもある。しかし、社会にお返しできるような企業が社会から必要とされ、そして応援をしてもらえたい」と話した。

「必要とされる企業に」

那須塩原・パン缶詰の秋元社長

東京トークショー

パンの缶詰を海外や災害地に届ける取り組みを続けている那須塩原市のパン・アキモトを題材にした児童書「世界を救うパンの缶詰」

の刊行を記念し、同社の秋元義彦社長(64)が12日、東京都渋谷区の代官山蔦屋書店でトークショーを行った。



秋元社長12日夜、東京トークショーを行う

同書では、1995年の阪神・淡路大震災の際、被災者が「長期保存ができて軟らかいパンが欲しい」という声を受け、秋元社長が100回以上の試作を繰り返して、パンの缶詰を完成させた物語を描いている。

出版社「ほるぷ出版」によると、全国の書店で話題に

また、同書については「プロの手にかかると、こんな素晴らしい表現になるんだと驚いた」などと話した。

(小野裕美子)

表彰

◆平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰 (11日)

- 【公立】岡沢尚美(足利市立御厨小学校)▽倉井止子(下野市立国分寺小学校)▽菅谷則子(宇都宮市立雀宮東小学校)▽橋本直子(那須塩原市立天山小学校)▽長谷川正子(宇都宮市立立河内西小学校)
- ▽室田和宏(宇都宮市立宝木小学校)▽吉田久美(鹿沼市)

制限撤廃を 旬、2国間協議

とで聞くことも判明した。牛

日本は2013年に米国産牛肉の輸入条件を月齢20カ月以下から30カ月以下に緩和したが、トランプ政権は、米国がBSEの発生リ

スクが最も低い「清浄国」に国際的に認定されていることを理由に、制限を撤廃すべきだと主張している。

(ワシントン、東京共同)